

日本藻類学会秋季シンポジウム  
「2001秋季藻類シンポジウム」のご案内

藻類由来の機能性成分の研究と利用の展望

21世紀は、藻類資源の機能性成分の利用が飛躍的に発展して大きな産業になることが予測されています。すでに、藻類の機能性成分を利用した健康食品や化粧品が話題になっていますが、この分野の最先端研究の動向と利用の可能性を、一般の方々にも理解できるようにご講演いただきます。皆様ふるってご参加、ご聴講下さい。

プログラム

楠見 武徳 (徳島大学薬学部医薬資源教育研究センター教授)  
－藻類の生理を司る化学物質と医薬品応用への可能性－

竹中 裕行 (MAC総合研究所所長)  
－微細藻類の生理機能とその応用－

山下 栄次 (富士化学工業(株)バイオ事業部次長)  
－アスタキサンチンの機能特性とその利用－

日 時： 平成13年11月16日(金) 午後1時30分より5時  
シンポジウム終了後 懇親会

場 所： ロイヤル・パークホテル (東京・日本橋、地下鉄半蔵門線水天宮駅隣接)

参 加 費： シンポジウム無料 (講演集500円)

懇親会費： 7,000円

共 催： 日本藻類学会, マリンバイオテクノロジー学会, 日本海藻協会

問 合 先： 日本海藻協会事務局 大野正夫 (高知大学海洋生物教育研究センター)  
TEL& FAX : 088-856-0462 E-mail: mohno@cc.kochi-u.ac.jp

※会場準備のため、シンポジウム・懇親会参加者は10月末日までにFAXかe-mailで御連絡下さい

